

子育て世代からの意見聴取（アンケート）結果

1 趣旨

名古屋市次期総合計画中間案に対する子育て世代からの意見を聴取するため、子育て世代の親子が集まる場所に出向き、子どもを対象としたアートイベントを開催するとともに、アンケート調査を実施しました。

2 開催概要

(1)	日 時	平成30年9月2日（日） 14:00～15:15			
	場 所	名古屋市子ども・子育て支援センター（758キッズステーション） （名古屋市中区栄三丁目18-1 ナディアパークビジネスセンタービル6階）			
	ア ー ト イ ベ ン ト 内 容	光とかげであそぼう！	参加者数	大 人	22人
		子 ども		21人	
(2)	日 時	平成30年9月11日（火） 10:00～11:15			
	場 所	名古屋市地域子育て支援拠点 遊モア柳原 （名古屋市北区柳原4-2-3）			
	ア ー ト イ ベ ン ト 内 容	マスキングテープであそぼう！	参加者数	大 人	18人
		子 ども		18人	
(3)	日 時	平成30年10月16日（火） 13:30～14:45 ※当初、平成30年9月4日（火）の予定でしたが、台風の影響により上記日時に延期しました。			
	場 所	名古屋市地域子育て支援拠点 にじいろ （名古屋市天白区平針南1-2006）			
	ア ー ト イ ベ ン ト 内 容	絵具であそぼう！	参加者数	大 人	16人
		子 ども		18人	

参加者数計	大 人	56人
	子 ども	57人

3 アンケート結果

(1) - 1 名古屋市の子どもや若者、子育て家庭への支援について、強み（優れている、評価できる）と思うことは何ですか。

(主な意見)

- ・公園や児童館などの遊び場やイベントが充実している
- ・地域の子育て支援拠点が充実している（か所数が多い、無料で利用できる）
- ・子どもの医療費が中学生まで無料
- ・保育園が多くある
- ・放課後事業（トワイライト・学童保育）が充実している
- ・第二子の育休中も（第一子が）保育園を利用し続けられる
- ・東山動物園が無料
- ・区役所の窓口やキッズスペースなど、細かい配慮がある
- ・バスに乗った時、ベビーカーに手厚くしてくれたことに感動した

(1) - 2 名古屋市の子どもや若者、子育て家庭への支援について、弱み（課題がある、取組みが不十分）と思うことは何ですか。

(主な意見)

- ・保育園が不足している、希望の保育所に入所できない
- ・小規模保育所はあるが、卒園後（3歳）に転園する場所がない
- ・一時保育の利用枠が少なく、利用しづらい
- ・公園が少ない、設備が悪い
- ・子育て支援センターの開所日・時間が少ない
- ・パートタイムなどフルタイム以外で働きたくても、保育園が利用できない
- ・発達に不安や心配がある子どもや親が相談できる場所が少ない
- ・母子手帳の交付時などに、産後必要な情報をもっと伝えてほしい
- ・区によって支援にムラがある

(1) - 3 名古屋市の子どもや若者、子育て家庭への支援について、「こんな取り組みがあったら嬉しい!」、「こんな支援をするべき!」、「こんな場がほしい!」
ということは何ですか。

(主な意見)

◆こんな取り組みや支援があったら良い

- ・子育て家庭を対象とした地下鉄やバスの無料パス、タクシーの割引制度
- ・より柔軟に子どもを預けられる事業
- ・出産祝い金等の金銭的支援
- ・給食費の無償化
- ・予防接種や妊婦健診の拡充
- ・働き方改革（父親の育児参加、子どもとの時間の確保）
- ・ITを活用した情報提供
- ・不妊治療への理解度の向上（啓発）

◆こんな場所があったら良い

- ・季節や天候を問わず遊べる場、大型の屋内施設
- ・同世代の子どもが集まる場や地域のママ友との交流の場
- ・土日も解放している子育て支援拠点、休日の園庭解放
- ・高齢者とふれあい、一緒に遊べる場
- ・無料で参加できるリトミックや体操教室、イベント等
- ・授乳室やおむつ替えスペースの充実

(1) - 4 子どもが夢と希望を持って成長していくためには、どのような取り組みや支援が大切だと思いますか。

(主な意見)

- ・様々な体験・経験ができる取り組み
 - ・職業体験、職場体験
 - ・赤ちゃんや高齢者など、多様な世代とのふれあい体験
 - ・自然、科学などの体験
 - ・体験型のイベントの充実
- ・幼児期、小学校期からのスポーツ教室等への助成
- ・命の大切さを伝える取り組み
- ・いじめのない学校づくり
- ・子育て家庭への経済的支援

(2) - 1 名古屋市における高齢者や障害者などへの福祉、女性の活躍、多文化共生、地域コミュニティについて、課題だと思うこと、取組みが不十分だと思うことは何ですか。

(主な意見)

◆高齢者や障害者などへの福祉について

- ・地下鉄駅のエレベーターが少ない
- ・高齢者の働き支援
- ・子育て支援センターなど、障害があっても気軽に参加できるようにしてほしい
- ・他の子と上手く関われない子どもが遊べるイベントが少ない

◆女性の活躍について

- ・保育所が不足している
- ・結婚・出産で職場を離れても数年後に戻れる環境づくり
- ・安心して産休・育休がとれる環境づくり
- ・働きながら子育てできる環境、不妊治療をしながら働き続けられる環境づくり

◆その他

- ・地域のコミュニティについて知らないことが多い
- ・マンションの家庭は町内会から省かれことがある
- ・多文化について知り、学び、触れ合う機会が必要
- ・情報提供が少なく、当事者でもどのような支援が受けられるか分からない
- ・地域による差が大きいと感じる

(3) - 2 名古屋市における高齢者や障害者などへの福祉、女性の活躍、多文化共生、地域コミュニティについて、「こんな取組みがあったら良い!」、「こんな支援をするべき!」ということは何ですか。

(主な意見)

◆高齢者や障害者などへの福祉について

- ・赤ちゃんから高齢者、障害者、すべての人が交流できる機会（イベントなど）
- ・困ったときに24時間、365日つながる相談ダイヤル
- ・車いすやベビーカーで移動がしやすいようにエレベーターやスロープの設置
- ・聴覚障害者への情報として、すべての施設のホームページにメールアドレスを掲載
- ・高齢者への住環境の整備(老後に賃貸アパートなどを借りられる支援等)

◆女性の活躍について

- ・産後、仕事復帰しやすいよう企業等への働きかけ
- ・男性も育休や介護休暇を取得しやすい環境づくり
- ・男性の意識改革の推進

◆その他

- ・多文化について外国人と話ができる機会
- ・積極的な情報提供

(4) - 1 名古屋市の防災、消防・救急体制、環境保全について、課題だと思うこと、
取組みが不十分だと思うことは何ですか。

(主な意見)

◆防災について

- ・子育て家庭や高齢者の家庭を対象とした防災教育
- ・避難方法のPR（避難拠点が分からない家庭が多いのではないか）
- ・地域の防災訓練への参加が少ない
- ・公的施設の備蓄が少ない

◆消防・救急体制について

- ・小児科対応ができる夜間救急が少ない
- ・聴覚障害者は、子どもの緊急ダイヤルなど電話で指示を仰ぐことができない

◆環境保全について

- ・電柱、電線が目立ち過ぎている
- ・環境教育の場
- ・整備されていない公園がある

(4) - 2 名古屋市の防災、消防・救急体制、環境保全について、「こんな取組みが
あったら良い!」、「こんな支援をするべき!」ということは何ですか。

(主な意見)

◆防災について

- ・子育て家庭や高齢者の家庭を対象とした防災教室
- ・災害時に必要な物品、避難所、行動の仕方がまとまった冊子があると良い
- ・マンションへの雨戸設置助成
- ・各家庭に防災グッズ等の配布又は補助
- ・防災訓練の充実

◆消防・救急体制について

- ・夜間救急の小児科対応の増加
- ・AEDマップ（利用可能な時間の表示等）
- ・救急隊員などに感謝するイベント
- ・聴覚障害者でも、緊急ダイヤルなどへ連絡できる仕組みづくり

◆環境保全について

- ・環境教育センターの整備
- ・服や絵本のリサイクル

(5) - 1 名古屋市のまちづくり、産業振興、観光・まちの魅力向上について、課題だということ、取組みが不十分だということは何ですか。

(主な意見)

- ・PRが不十分（市民に対しても）
- ・名所・観光施設が少なく、他県の人に勧められる場所がない
- ・個々は良いのにピンポイント過ぎて繋がらない、場所が離れていてアクセスが悪い
- ・トイレの清潔度
- ・海外における名古屋市の認知度が低い

(5) - 2 名古屋市のまちづくり、産業振興、観光・まちの魅力向上について、「こんな取組みがあったら良い!」、「こんな支援をするべき!」ということは何ですか。

(主な意見)

- ・名古屋城だけでなく、目玉になる観光施設があるとよい
- ・市民一体型のイベントがあると良い
- ・栄地区の総合開発
- ・大須商店街、円頓寺商店街などの活性化
- ・保育園児や幼稚園児、小学生などを優先的に招待し、若年層へPRする

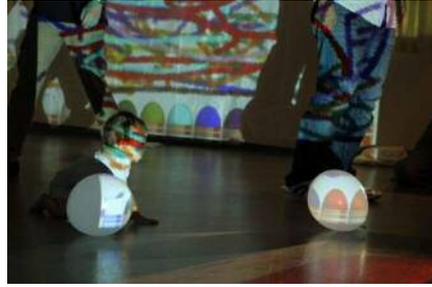
(6) その他、ご意見・ご提案がありましたら自由に記入してください。

(主な意見)

- ・赤ちゃんも安心して遊べる場所をもっと作ってほしい。
- ・今年大阪から引っ越してきたが、名古屋市の子育て支援は自分でかなり探して行く必要があり苦労した。クチコミでなんとか対応したが、最初に転居世帯の集まりが1度でもあると嬉しかった。
- ・地方から転入したが、思っていたより便利で生活しやすいと思った。しかし、何でもあるが、敢えて友人や家族に紹介したいものがないと感じている。
- ・このような子ども向けのイベントをもっとたくさんやってほしい。
- ・保育園や幼稚園、学校の給食には、調味料を含めて安全・安心なオーガニック食材を使用してほしい。
- ・3～4か月検診での離乳食の説明のところは、下に座って受けられたら楽だなと思った。首のすわらない子を抱えてはしんどかった。
- ・市民の健康づくりのため、スポーツセンターの営業時間を週一回でも遅くしてはどうか。

4 当日の様子（参考）

(1) 平成30年9月2日（日）「光とかげであそぼう！」



(2) 平成30年9月11日（火）「マスキングテープであそぼう！」



(3) 平成30年10月16日（火）「絵具であそぼう！」

